

おれんじニュース

No256

2011年7月号



5/31 ビジターセンターより見る三俣山と指山



6月5日九重指山にオープンハイク。滑って泥だらけになってもこの笑顔

★集会・委員会・行事のお知らせ★ ★4月から会合の曜日が水曜日です★

	7月	8月	時 間	場 所
運営委員会	6(水)	10(水)	19:30~22:00	西諫早公民館
ひまわり集会	1(金)	5(金)	13:30~15:30	
全体集会	20(水)	24(水)	19:00~22:00	



彼、彼女達の復活を
叶えた山行だった。



昔の山ガールたち



シャクナゲ

とにかく、花と緑の美しい一日でした。



オオカメノキ



振り向けば釈迦ヶ岳



コケイラン



ユキザサ



ミツバツツジ



7月



山行計画

部	技術研修部	ひまわり山行部	山行部	技術研修部
月・日	7月6日(水)	7月15日(金)	7月23(土) ・24(日)	7月31日
山名	作礼山(887m)	石谷山・九千部	国見岳(1739m) 大金峰(1396m)	小屋ヶ岳(991m)～ 笈吊峠縦走
地図	相知	中原・不入道	国見岳・葉木	下河内・ 耶馬溪西部
集合時間	西諫早駅 8:30	西諫早駅 8:00	諫早駅裏 7:00 西諫早駅 7:10	諫早駅裏 6:00 西諫早駅 6:10
難易度	初心者	初心者	やや健脚	中級健脚・ ゆっくりコース 有り
帰着時間	17:00	17:00	19:30	19:30
歩行時間	2.5h	3.2h	1日目 1.5h 2日目 5h	4.5h
交通手段	マイカー	マイカー	マイクロバス	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	日帰り	民宿(佐倉荘)	日帰り
温泉	佐用姫の湯	有り?	有り	有り
参加費	車両使用料規定	車両使用料規定	15000円	5000円
申込期限		定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第
集約	川原	江崎	田中	佐原
備考	アジサイが美しい ナツツバキも	樹木の種類も 豊富	熊本県下の 最高峰に登る	オオキツネノ カミソリ有り
感想文 提出	7/16	7/20	8/7	8/10

6月25日(土) セルフレスキュー (JR西諫早駅9:30集合)

7月30日(土) セルフレスキュー (JR西諫早駅9:30集合)

技術研修部多良岳研究企画

7月1日(金) 多良周辺の散策 (イワタバコも咲いてる時期です。)

JR西諫早駅8:30集合 マイカーでいきます。

鬼の門～鬼の岩屋～本多良～多良北壁周辺散策～役の行者～金泉寺～六体地藏

(参加希望者は川原まで。電話で申し込んでください。)



8月



山行計画

部	山行部	ひまわり山行部	技術研修部
月・日	8月6日(土)・ 7日(日)	8月12日(金)	8月20日~23日
山名(行事)	多良岳	檜原湿原・ 亀岳(740m)	北アルプス・剣岳
地図	多良岳	古湯・雷山	
集合時間	西駅 9:00	西駅 7:00	
難易度	中級(体力訓練)	初心者	健脚
帰着時間		17:00	
歩行時間	1日目・3H 2日目・5H	4h	
交通手段	マイカー	マイカー	JR・夜行バス等
宿泊施設	金泉寺小屋泊	日帰り	山小屋
温泉		古湯	
参加費	3000円	車両使用料規定	
申込期限	定員になり次第	定員になり次第	
集約	田中	江崎	川原
備考	多良北壁観察と 経ヶ岳、郡岳縦走	湿原の植物・ サギソウを見る	弘法大師がワラジ 3千足使って登れ なかったとか
感想文提出	8/15	8/19	9/7

9月・10月の山行案（技術研修部）

10月 中仙道木曾路の旅 3泊5日（2泊車中）7万円

参加者12名限定 申込み川原まで

全国ハイキング交流集会の案内

日本勤労者山岳連盟ハイキング委員会主催で「第18回全国ハイキング交流集会 in 伊豆(2011年)」が開催されます。参加希望者は事務局兵庫まで申し出てください。

○日時 2011年9月17日(土) 13:00~18日(日) 12:00

○場所 静岡県、伊豆長岡温泉（伊豆の国市）・公共の宿おとり荘

○テーマ 「ハイキング文化を次代に引き継ぐために、いま何をなすべきか」

○参加費 13000円

多良岳登山道の滑落事故防止対策について

1月9日の事故発生後、何らかの事故防止対策を太良町役場に申請しようという事になった。何度か事故現場に立ち入り写真撮影、事務局で作成した要望書を持って6月10日金曜日、福岡、川原、兵庫の三名が太良町役場を訪れた。

太良町管内の地図で滑落場所の詳細説明を行った。「7月のレスキューネットワーク会議に問題提起をする」等の前向きな発言をなされた。今後は行政の対応を見守っていきたい。

5月・6月の山行報告



5月15日(日)

釈迦ヶ岳(1229.5m) 御前岳(1209m)

(参加者) 福岡、鎗水、田中(静)、山口、田村、坂口、松尾(敏)、松園、山下、中須賀、久保、林田、下釜、松尾(会員外)、高森(元会員) (15名)

(行程) 諫早駅 6:00—西諫早駅 6:10—金立 7:10—日田 IC8:08—ハイランドパーク 9:05—矢部越登山口 9:15—登山口出発 9:20—釈迦ヶ岳頂上着 10:10—普賢岳測候所 10:20—釈迦ヶ岳再び 10:35—御前岳頂上着 12:00—昼食—御前岳下山 12:40—柚の里登山口 13:40—秘境柚の里溪流公園(大吊橋) 14:45—同出発 15:15—ハイランドパーク(入浴)—同出発 16:30—西諫早駅 19:25

(感想) 朝はやく、足早に西諫早へ向かったらもう、数人のメンバーの方が見えていた。

9か月ぶりのオレンジの仲間との山行が出来て幸せだ!!!。

西駅を6時過ぎに出発し、金立を通り日田方面へむかう。日田インターを出てしばらく走ったら萌えるような新緑が目に入った。

桐、山藤等が優しく私たちを出迎えてくれているようだ。ハイランドパークでトイレを借り、登山口まではマイクロバスで少しの行程であった。矢部越登山口で簡単なストレッチを済ませ登山開始。

釈迦ヶ岳、御前岳の縦走路は淡いピンクのシャクナゲ、ミツバツツジなどが可憐に咲いてて、花たちはもの言わないけどわれわれの疲れが一気に吹き飛んだ。



御前岳の頂上で昼食。ここからは急下りである。松尾(敏)さんのアドバイスの元、



へっぴり腰でどうにか下山。自然歩道に入ると沢を渡る場所が数か所あった。運よく(?)「まむし」に会われた人もいたらしいが私は出会えなかった。「まむし」から避けられているのかもしれない……。下山してすぐ柚の里溪流公園で大吊り橋を渡る事になった。少し揺れる吊り橋から眺める溪流も新緑のなかでひとときわ美しかった。

バスに乗り、帰路ではまた違ったルートでの新緑が目に入り感激した。とにかく清々しくてこんな風景はこの時期にしか見られないだろうと感じた。途中、八つ目滝にも寄ってもらい、カメラ部隊はパチリパチリシャッターを押しまくっていた。

ハイランドパークで入浴を済ませ、諫早へレッツゴー。

本日は会員外の方が2人(男女一人ずつ)、また私を含め3名が久々の山行参加で怪我もなく、楽しく参加できてうれしかったです。

登山は身体と頭脳のトレーニングと共に何かを教えて貰える様な気がする。その反面危険もひそんでいる。体力と知識が必要である事を毎回痛感させられる。

今回、こんなすてきな山行を計画してくださった中須賀さん本当にありがとうございました。今回を機会に又、どしどし山行に参加したいと思います。今後ともよろしくお願いします。お世話になりました。



熱心なM氏の指導のもと皆安全に下りる



(田村 満子記 イラストも)

5月20日(金)

絹笠山(870m)・高岩山(881m)

(参加者) 小山、佐原、林田、中村、金丸、田中ひ、(6名)

(行程) 諫早ターミナル発(8:50)～雲仙・小地獄前着(10:10)～白雲の池を経由して、絹笠山山頂(11:10)～小地獄温泉前を通過して宝原園地(12:30)～高岩山山頂着(13:15)遅い昼食、山頂発(13:50)～宝原園地経由～小地獄温泉着(14:40)、ひと

まず解散。女性軍は入浴後バス（小地獄発 15:37）にて帰諫。

（感想） はじめの予定5月13日(金)から1週間延期になったので、ミヤマキリシマに会えるかしらと心配だった。私にとっては久々のハイキング。新緑の中、小鳥の声に耳を傾け、おいしい空気を胸いっぱい吸い込んで、初夏の開放感を満喫しました。

まず登った絹笠山の山頂から右手はるか前方に、紫やピンクの絨毯が見えるので、まだ花は残っているのね、と安心する。次に宝原園地へ。平日なのに駐車場はかなり混んでいる。マイクロバスが多く、〇〇園とか〇〇ケアセンター等お年寄りの団体が多い。花は盛りを過ぎてはいるがまだまだ十分にきれい。混雑をすり抜けて高岩山へ。階段続きの参道を、黙々と登って、40分で山頂。遅い昼食。眼下には天草が見えるが、熊本はうっすらと霞んでいる。下りは園地まで25分、あんなに並んでいた車も少なくなり、潮が引くようにバスが帰っていく。車窓からうつろな表情で外を眺めている老人の姿が妙に気になった。10年後の私？・・・

空模様が怪しくなり、足早で下り、小地獄温泉に辿り着く。幸い雨には降られなかった。ここで解散。女性軍は、帰りのバスの時間を気にしつつ、超特急で入浴し帰途に着く。

後半は、時間に追われ忙しい1日であったが、新緑の山々と掛け流し温泉でお肌ツルツルの充実した1日でした。

（田中紘子 記）

5月22日（日）

九重の夏の樹の花を見る山行（自主）

（主催）カルチャー山の会 （オレンジHC参加者）坂口、松園、山下

（行程）諫早高速 IC7:30=九重 IC=四季彩ロード—吉部—大船林道—鳴子橋（昼食）—雨ヶ池越—三俣山(中腹)—雨ヶ池越—九州自然歩道—タデ原湿原—長者原=九重 IC=諫早

（感想） 前回（4月24日）登山教室に参加した時、今度、樹木の花を見に九重に行くことを聞き、座席の空きがあれば是非参加したいとお願いした。

後日、席の空きがあるとのことのお電話をいただき大変楽しみにしていた。

当日は朝から雨模様。まあ、九重に着いたら午後は晴れると言っていた天気予報の方を信じようと、いつもながら楽天的な私の考え。九重を出て四季彩ロードでも雨は降りやまず歩き出す前に雨具を付けることに。吉部から鳴子川に沿って歩くルートは以前大船から暗くなった時逆に歩いたルートらしいが季節が違くと又、全然景色も雰囲気も違って思えた。カルチャーの会は本当にゆっくりゆっくりなので道端の花をたくさん見つけることができる。最初に見た「オトコヨウゾメ」は後の方では「オトコヨウズミ」とか「オトコヨウナシ」に名前が変わってて、挙句の果てに「オンナヨウズミ」は無いのか？とのたまうおのこがいたりして爆笑しどうしだった。

前回の登山教室では見れなかった「フタリシズカ」「コケイラン」「バイケイソウ」等、探せた事がすごくうれしかった。

肝心の「ヨウラクツツジ」は雨ヶ池から三俣山に登った辺りに咲いてるらしいのだ

が、今回はいつもより全般的に花の咲く時期が遅めであり、それでも、オレンジメンバーの S 氏が一本だけ 10 輪ぐらい咲いてる樹を見つけた時は皆、S 氏に感謝とお礼の言葉を述べておられた。私は、なぜか「クサボケ」の群生に驚き感動してしまった。庭に植えてある「ボケの樹」も最初はこんなに素朴な花だったんだな……。帰りは遅くなって温泉に入らなかったけど、あまり暑い日差しも浴びずに霧雨の中を気持ちよく歩いた感じ。また、こんな山行に参加したいものだと思った。 (山下 記)

6月5日(日)九重指山オープンハイクに参加して

山登りの感想

私は、山登りで、とても迷わくをおかけしたと思いますが、とても楽しかったです。

特に迷わくをおかけしたと思う所は、登山の時、手を引っ張っていただいたり、足はどこにかけたらいいなどと教えてくださった所です。

そして他にも、なるべく周りにあるものに(岩や木など)つかまっていくといいという事や、急な下りはかかとから下りるとすべらないという事を教えていただきました。

とても勉強になりました。教えてくださったおかげですべらなかったです。

また、大変な時もあったけど、オレンジハイキングクラブの人々にたくさん声をかけてもらって、どうにかちょう上までたどりつきました。

ちょう上はとても見はらしがよかったです。

私は今までに、「みたち山」「普賢岳」「経ヶ岳」に登りましたがすべて晴天でした。

なので、雨天の時登ったのは今回が初めてでした。次に山に行く時雨天だったら、今回覚えたことを使って登りたいです。

本当に九重指山ハイキングに参加させていただいてありがとうございました。また来たらよろしくをお願いします。 (中野はるか 真城小6年)

6月5日(日)

久住指山オープンハイキング

(参加者)

1班：福岡(PL)、松園(救助)、林田(会計)、井上、和田、音なぎ、高森、辻

2班：坂口(PL)、田中静(CSL)、山下、久保、藤本、久保、松田、古賀、緒方

3班：鎗水(PL)、兵庫(救助)、下釜、田原、円能寺、小島夫妻

4班：中須賀(CL)、佐原(CSL)、川原(PL)、國分(救助)、林(会計)、田村、中野

(下線記載は一般参加者、合計 31 名)

(行程) JR 諫早駅裏→JR 西諫早駅前→諫早 IC→九重 IC→長者原→指山自然観察路

分岐⇒指山⇒分岐⇒九州自然歩道⇒長者原→九重 IC→諫早

(感想・問題点等)

- ①広報誌「ナイス」掲載と鎗水氏製作ポスターの成果が十二分に発揮され一般参加者が15名もあったことはオープンハイキングとして大成功であったと思われる。
- ②朝から雨模様であったにもかかわらず、参加申込者のキャンセルが全くなかったことは参加者の意識がかなり高かったと考えられた。
- ③久住山系は人気度が高く、そのなかで指山はオープンハイキングにふさわしい山であった。
- ④火山灰土壌(クロボク土)の登山道は雨のため滑りやすく、山頂付近では一般参加者、会員を問わず著しく難儀した。
- ⑤大勢が歩くことで登山道が荒れてますます滑りやすくなるといった状況の下、安全確保のためやむを得ず登山道はずれて脇の藪を歩く場面があった。
- ⑥一般参加者は1,2名を除いて全般に健脚の人が多く、1~2班は行程を比較的順調に進行した。途中、先行した班が後続の班を長時間待つ場面があり、一般参加者に迷惑をかけた。
- ⑦山頂到着が12時を過ぎ、早く着いた班は食事の指示がないまましばらく待たされた。その間身体も冷えてきたため指示を求める声が聞かれた。
- ⑧幸い大きな事故は避けられたが、滑った際に手を傷めた人が一般参加者と会員に1名ずつあった。松園さんの応急手当でその場は大事なさそうであったが、帰宅後にどのようなであったか心配である
- ⑨一般参加者の感想は雨中山行・泥だらけという悪条件であったにもかかわらず全般に好評のようであった。
- ⑩山行が好評であったにもかかわらず、入会の希望がいまいちの状態、後一步後押しする方策を考えないといけない。帰宅後に「オレンジHC」を忘れられては企画の意義がなくなるので、参加の礼状と集合写真(2L)を送ってはどうだろうか？。
(坂口)

6月12日(日)

クリーンハイキング 御館山、上山

(参加者) 松尾、佐原、金丸(勝)、金丸、林田、田中(静)、中村、下釜、山下、兵庫、田村、山口、中須賀、
会員外 2名 (15名)

(行程) 9:00 (各人ごみを拾いながら) 御館山広場集合・打ち合わせ ~
~ 9:10 作業 ~ 上山へ移動 ~ 11:30 終了・解散

(感想) 本日は梅雨入り直後で、昨日から雨天が続き、朝からも時々大雨であったりして、「こんな時に実行するの？」と思う方もおありだったでしょうが、近場のことでもあり、まず



は実行した。

御館山の集合場所では、雨にも負けず、嫌な顔もなく、にこやかな会員諸氏の参加があり、“さすが”と自然を愛する人たちの意気を感じた。

山行には、四季折々の変化があり、雨・風・雪などに遭遇することも多く、悪天候に慣れていくことも大事ではないかと思う。今回は数名の方たちが訓練のため、毎日のように歩いておられる近場の低山である。私は長い雨靴を履いて参加することにした。

御館山様に日頃の歩行利用を感謝しながら、植え込みの中を覗いたり、崖の途中に引っ掛かった弁当パックや空き缶などを拾った。諫早市民が大切にしている山なので、粗大ごみは見当たらなかったが、古タイヤを数個見つけた。(これは拾えなかった。)



集めたゴミは缶類と可燃ゴミで二袋

今回のゴミの収穫は2袋と少なかった。(一週間前にも他のグループによる空き缶拾いの作業があったらしい。)午後からはロープワークの練習の予定だったが雨天により中止し残念だった。

帰りは、雨靴の中に水がほどよく溜まり、子供の時に歌った「雨々降れ降れ母さんが・・・チャプチャプ ランランラン」を思い出していた。悪天候の中を参加していただいた会員の皆さんアリガトウサンでした。(中村 記)



この人たちのおかげで
気持ちの良いきれいな御
館山と上山になりました





長者原でトイレを済ませ班別に
わかれま〜す。

指山オープンハイク模様

三俣山を見ながら
準備体操。
Yさん。Vサイン
しないで体操しな
さい!。



霧雨の中に雨具の花が咲く



きみは花よりうつくしい〜♪♪

やったあ!
頂上だあ!!



バイケイソウ・今日は花が咲いてた6/5



帰りのバスの中、N氏のマイクも絶好調!



クサボケ 5/24 雨ヶ池越あたり



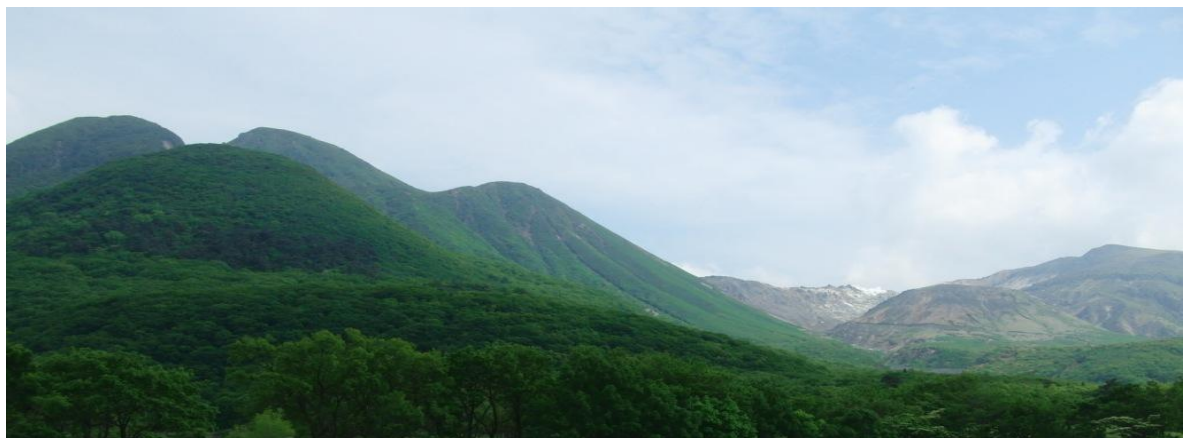
ヨウラクツツジ 5/24 三俣中腹にて



マイズルソウ



イワカガミ



おれんじニュースNo256	
発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡正廣
編集責任者 及び 原稿送付先	山下ちず子
発行年月日	2011.6.22
財政担当	
郵便振替講座	
ホームページ	http://orangehikingclub.web.fc2.com/



5/24 雨ヶ池からの九州自然歩道にて
バイケイソウ花は無い